



普段、皆さんが訪れる市役所。市民生活課や税務課、福祉課などは馴染みがあるかもしれませんが、ほかにもたくさんの課があり、さまざまな仕事をしています。

今回の特集は、市役所で働いている4名の職員へのインタビューをとおして、仕事の内容やその仕事のやりがいなどを紹介します。



総務課危機管理対策係 一般事務職
岩崎 恵理菜 主事(入庁5年目)

— ある1日の流れ —

- 8:30 打ち合わせ
- 9:00 メールチェック、調査の回答
- 10:30 入札・契約の準備
- 12:00 昼食、休憩
- 13:00 事務処理
- 16:00 防災無線の音声吹き込み
- 17:15 終業

現在、どのような仕事をしていますか？

最近、防災無線のデジタル化整備事業という、これまでのアナログ方式だった防災無線をデジタル方式に移行するための業務が大きな仕事です。入札の準備やその庶務に関する仕事をしています。その他にも、危険空き家対策や地域の防犯に関すること、防災訓練に関することなど、防犯・防災の業務に全般的に携わっています。台風が来た時は、市役所に泊まって待機することもあります。

以前の職場では、どのような仕事をしていたか？

以前は、教育委員会の学校教育課で教職員の福利厚生や教職員の研修の運営、学校に関する事務などをしていました。その後、出産で産前産後休暇・育児休業を約2年間取得して、現在の職場に復帰しました。

現在、子育てをしながら仕事をしているとのことですが、仕事と子育ての両立は大変ではないですか？

大変な部分もありますが、夫と協力しながら両立しています。有給休暇や子どもが病気になった時には看護休暇も取得できるので、そのような点はありがたいですね。

市役所の仕事の魅力は、何だと思えますか？

色々な課に行って、さまざまな業務に携わることができることです。幅広く知識を蓄えることができますので、自分自身が成長することができます。

先日も研修に行く機会がありました。市民の皆さんのためにとの想いで参加した研修でしたが、自分自身のためにも学ばせてもらいました。自分が勉強したことを市民の皆さんに還元できた時に、仕事のやりがいを感じ、また次の仕事につながると思います。

特集

市役所の仕事を紹介します

現在、どのような仕事をしていますか？

土地の登記済通知書を固定資産台帳に記載する仕事や不動産取得税関係の報告事務を主に担当しています。入庁したばかりなので、担当している業務はまだまだ少ないですが、これから少しずつ覚えていこうと思います。

市役所に入庁して約4カ月が経ちますが、職場の雰囲気や仕事には慣れましたか？

少しずつですが、職場にも仕事にも慣れてきました。分からないことがあった時は、いつも周りの方が優しく教えてくれるので、とても居心地の良い職場です。

市役所に入庁する前と入庁した後でイメージが変わったことなどはありますか？

市役所の仕事は、室内での事務処理ばかりだと思っていましたが、今の職場では家屋調査や土地の評価に関する

業務などで外に出たりする機会もあるので、イメージしていた仕事と違う部分もありました。

高校卒業後に市役所に入庁していますか？

進学も考えましたが、もともと地元で働きたいと考えていたので、進学よりも就職することに決めました。進学して学べることも多いと思いますが、早く就職することのメリットもあると思いました。

慣れないことばかりで大変だと思えますが、どのようなかたちでリフレッシュしていますか？

市役所の若い方や市内の社会人の方と一緒に、週に1、2回バスケットボールをやっています。色々な方と知り合いになることができ、良いリフレッシュになっています。



税務課固定資産税係 一般事務職
宿里 知輝 主事補(入庁1年目)

— ある1日の流れ —

- 8:30 打ち合わせ
- 9:00 固定資産台帳処理業務、窓口対応など
- 11:00 家屋調査に関する研修
- 12:00 昼食、休憩
- 13:00 現場で土地の評価
- 15:00 事務処理
- 17:15 終業